

■ グループ紹介

株式会社 関 電 工

1 はじめに

当社は、昭和19年9月に関東地区の有力電気工事会社8社が統合し、関東配電㈱（東京電力㈱の前身）の資本参加を得て、「関東電気工事株式会社」として発足いたしました。

その後、昭和59年9月、創立40周年を期して、CIの一環から社名を業容の現状に合わせ「株式会社関電工」に変更し、現在に至っております。

2 事業内容

当社は、設立時より、電力事業の一翼を担う企業として、電力施設の建設・保守業務に携わり、その役割を十二分に果しています。

一方、長年培ってきた技術力・施工力を駆使して、ビル・工場等の屋内電気設備工事、計装設備工事、空調・給排水設備工事、防災設備工事、情報・通信工事等を設計・施工しており、総合設備企業として産業社会より厚い信頼を得ていると確信しております。

当社の営業地域は、関東圏を始め、北は北海道から南は九州沖縄まで200個所に及ぶ事業所を有しております。また海外においても香港・シンガポールに事業所を、マレーシアに合弁会社を開設し、これまでに香港地下鉄、ネパール・カトマンズ配電線工事などの実績を挙げています。

3 会社の現況

- ・資本金 79億83百万円（昭和62年12月末現在）
- ・従業員 9,166名
- ・売上高 3,500億円（昭和62年3月期）
- ・支店 14（東京、神奈川、関西、札幌など）
- ・支社 2（香港、シンガポール）

4 技術開発

当社は、引き続き成長・発展を持続するためには、全体効率の向上と未来指向型経営の推進を展開することが是非とも必要であると考え、61年7月に経営組織の改編を実施しました。これは、「ニューメディア戦略

体制」「人材開発体制」及び「技術開発体制」の拡充強化を主眼とするもので、その一環として“技術開発総室”を発足させました。

技術開発総室は、技術管理部と研究開発部によって構成されています。

技術管理部は技術開発に関する基本方針・計画の立案、VAN、超電導など内外の技術情報の収集、調査並びに技術開発の統轄管理を行います。

研究開発部は、将来ニーズを先取りした技術開発に長期的視野から取り組むことを基本にしています。

当面するテーマは、

- (1) 情報・インテリジェントに関する技術開発
- (2) コージェネレーションに関する技術開発
- (3) 新エネルギーに関する技術開発
- (4) 海外機材導入に関する技術開発
- (5) ロボット化などコンピュータ利用に関する技術開発
- (6) 都市土木に関する技術開発
- (7) UHV送電線などに関する技術開発

の7テーマです。

このほか、施工技術の改善・向上については、各施工部の技術課が担当し、作業安全の向上、省力化の促進、コスト削減などに資する新技術・新工法の開発に取り組んでいます。

5 おわりに

今後とも当社は、活力ある挑戦的な組織の下、技術開発、人材育成、安全にして良質な施工の推進に努め、豊かな社会の建設に貢献し、合わせて得意先の信頼に応え、新たな発展を期す所存であります。

なお、現在、本社新社屋を東京芝浦に建設中ですが、このビルには当社の技術が集大成され、本年11月に完成する見通しであります。

本社所在地：〒113 東京都文京区湯島4-1-18
 （文責：技術開発総室研究開発部次長 飯田和弘）